

いつもよりちょっと短いけど…

夏休みが始まる!

夏休みがいつもの半分しかない。しかも3年次はそのうちの半分が夏季課外だ。しかも三者面談や河合マーク模試まで組まれている…。1・2年次も夏休み明けには国数英の実力テストはあるし、河合模試もあるではないか…。でもよく考えたら3ヶ月も臨時休業があったし、授業も遅れているからしょうがないか! いつもより短いと言うことは、ボーっとしているとあっという間に終わってしまうと言うことだ。何をするか、しっかり計画を立てて有意義な夏休みにしてほしい。

日	月	火	水	木	金	土
8月~9月初めのカレンダー						8/1
2	3	4	5	6	7	8
← 夏季課外(1~3年次)、三者面談(3年次) →						
9	10	11	12 学校閉鎖	13 学校閉鎖	14 学校閉鎖	15
16	17	18	19	20	21	22 河合マ模試(3年次)
← 夏季課外(3年次) →						
23	24 始業式 実テ(1,2年) 授業(3年)	25	26	27	28	29 河合模試(1,2年次)
30	31 GPS Academic(1,2年次)	9/1	2	3	4	5 河合記模試(3年次)

WEBオープンキャンパスに参加し、大学について調べてみよう!

夏休みには大学のオープンキャンパスに参加し自分の進路について考え志望校を決定してゆく、というのが昨年までの高校生の過ごし方でした。各大学にはそれぞれ良さがあり、それを知り“惚れ込む”ことは苦しい受験勉強を乗り越える力になります。2年次生はもちろんですが、1年次生からいろいろな大学を見ておくともよいでしょう。3年次生も志望校を見ていない場合は受験勉強の息抜きがてら行ってみるとよいのですが、今年は各大学が当初予定していた日程の中止を発表したため行くことができなくなりました。しかし、その代わりにオンラインで行う「WEB オープンキャンパス」が注目を集めています。従前のオープンキャンパスとは異なり、**時間や場所の制約がなく、どこからでも参加できる**メリットも加わったのです!!

主な内容は、大学紹介、入試説明、施設紹介、模擬講義、入試対策講座、学生生活の情報、駅からの道順などで、これらが動画やスライドショーで展開されてゆくの**大学サイトに常設するタイプ**(早稲田大学など大型私立大の多くがこれです)と、**期日指定で開催するタイプ**があり、後者は事前申込が必要となる大学が多いようです。1対1で行われる個別相談は、指定アプリのインストールや時間予約も必要になります。



大学入学共通テストの導入に伴い、**今年は入試改革を行う大学も増加**しています。3年次生もまずは自分が志望している大学の情報を収集・確認しておくことが必要でしょう。なお、小規模大学や実習・実技が多い学部学科のある一部の大学では、オンラインではなくキャンパスで開催するところもあります(夏はオンラインで、秋はキャンパスという大学もあります)。その場合も事前申込で参加人数を制限するところがほとんどです。

最後に「WEB オープンキャンパス」で注意すべきことを言っておきます。WEB 動画で視聴するキャンパスの様子は、**大学が「見せたい」部分だけを切り取った情報**です。入学してから「違うじゃん」と悔やんでも後の祭り。ですから、第一志望の大学には是非一度は実際に足を運び、自分自身の目で見て大学の雰囲気を感じてほしいのです。それにはオープンキャンパスではない普段の日の大学の方がよいかもしれません。もし2学期になってコロナが収束し、大学も対面授業を復活させていたら、群馬県民の日などは絶好のチャンスです。堂々と大学のキャンパスに入っていく、雰囲気を味わい、学食も利用しましょう。事務室へ行って「高校生ですが見学したいので資料をください」と言えば、大学パンフなどをゲットできるはず。皆さんはその大学の受験生になるかもしれない高校生なので、大学の人は親切ですよ。

大学のどんなところをチェックするか…

- ① **学部・学科・カリキュラム** (自分が学びたいことができるかどうか)
- ② **設備** (図書館、研究室だけでなくロッカーやトイレの使いやすさも)
- ③ **入試制度・科目や配点** (過去問を配布したり、傾向と対策を教えてくれる大学もあり)
- ④ **進路・就職** (進路実績と支援体制は要チェック。キャリアセンターもできれば見学)
- ⑤ **学生の雰囲気** (サークルやアルバイト、周辺環境など。ファッションも大学によって違う)
- ⑥ **資格** (内容と支援体制、合格数も。国家試験合格率が異常に高い?は受験者数をチェック)
- ⑦ **学食・売店** (言うまでもない…)
- ⑧ **その他** … 定員と学生数をチェック (定員割れしている大学は危ない)。学費をチェック (入学金・授業料・施設費など。これをパンフに明記していない大学は怪しい)。退学率まで情報を開示しているとグッド。